

短歌

末武 有二 選

降りきては去りて又くる雀らの草刈り後をつ
んつん餌拾ふ 安永 守住 孝子
金柑の熟れ実つつきし目白らの鳴く声美しく
耳をすませり 惣領 島田 廣子
息白し湧水の川霧満ちて鐘声七つ弓張の月
惣領 甲斐 道夫
なきひとの十三回忌すぎし夜に形見の詩集中
也をひらく 木山 赤城 香織
故郷を想い開くか蠟の花春を待てずに霜ひか
りおり 馬水 倉本研一郎
孫達は大津高の決勝戦テレビに釘づけ一喜一
憂 広崎 日野ヒロ子
杖を突き歩くことのみ多くなりバスに乗った
は楽しい想い出 江津 高田美佐子
新春の光浴びてる家の庭季節外れの梅花一輪
赤井 増岡 伸禧
若いころ花など知らず過ぎしたが今朝はペ
チュニアに水をやってる 安永 中原 義一
公民館地域の人どちこぞり来て昔懐かしい小
豆のだご汁 木山 本田 龍子
飾りたて祭り広場に行くポニー蹄の音のほが
らかに鳴る 惣領 垣野 幸一

俳句・川柳

七草や庭の隅には仏の座
喜寿過ぎて長き折りの初詣
このごろは木戸から入りし冬炬燵
孫育ち静かに食べるおせちかな
初霜や野良猫たちもうぎ震い
枯木立かくれんぼすぐ見つけられ
こたつ船くま川下り夢ごち
元朝やもやの裳裾の阿蘇五岳
木枯しに吹雪が踊る白い街
まだ元氣ゴルフに行くやハリ治療
トランプの戦々恐々開く待つ
恐竜の名前でカタカナ孫覚え
息災が白寿の夢に手をたたく
赤井 永樹みちこ
広崎 大原 郁
安永 福山 友子
木山 鎌田 隆子
古閑 今村 恒心
惣領 阪口由美子
熊本市 境 眞木子
赤井 増岡 伸禧
宮園 米村 盛子
惣領 野宮 逸吉
木山 本田 龍子
赤井 増岡 酔粋

俳句・川柳選者の河野全平(布田川左門)先生が、
12月31日にご逝去されました。先生は2015年
4月号(第463号)から9年9カ月の長きにわ
たり、多くの作品を愛情を持って選考してくださ
いました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

俳句・川柳選者の後任については、改めてお知らせし
ます。投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役
場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

各学校では、学年の発達段階に応じた「人権学
習」を実施しており、11月には全ての学校でテー
マを設定して公開授業を開催しました。授業後
には、各校ごとの人権教育の推進状況などを共
有し、意見交換会も行いました。

さらに、日常の教育活動においても、互いの
考えを尊重しながら交流し、思いやりの気持ち
を高め合う取り組みを進めています。このよう
な日々の教育活動の積み重ねが、「自他共に大切
にする子どもたち」を育成する一助となってい
ると考えています。

今後も、冒頭で紹介した小学生のように、感
謝の気持ちを素直に表現し、相手を思いやる気
持ちを行動で示すことができる「心豊かな益城っ
子」を、学校教育はもとより、町全体で育ててい
きたいものです。

以下全て午前8時30分～午後5時15分

- 女性の人権
女性の人権ホットライン ☎0570-070-810
●子どもの人権
子どもの人権110番 ☎0120-007-110
●いじめについて
益城町いじめ電話相談 ☎286-1770
●さまざまな人権問題
益城町福祉課人権対策係 ☎289-1400

人権

～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.525

心豊かな
「益城っ子」の育成

時々、横断歩道で待っている人がいるにもか
かわらず、車がなかなか止まらないことがあり
ます。横断歩道は歩行者優先であり、車は一時
停止して歩行者に道を譲らなければなりません。

先日、信号待ちをする小学生に出会いました。
子どもたちは、歩行者信号が青に変わったのを
確かめてから横断歩道を渡ると、振り返って車
に向かって深々とおじぎをしていました。

ドライバーに感謝の気持ちを表す子どもたち
の素直な行動を目にし、とても心が温まり、元
気をもらいました。

町では、人権尊重の視点に立った教育活動を
推進し、「自分を大切に、相手を大切にする教育」
に取り組んでいます。

人権についての電話による相談窓口(平日のみ)

- 同和問題をはじめとするさまざまな人権問題
熊本県人権センター ☎384-5822
午前9時～正午と午後1時～4時
●障がい者の人権および権利擁護
障がい者110番 ☎354-4110 午後1時～5時
●法律問題、人権問題、人権侵害への救済について
みんなの人権110番 ☎0570-003-110
午前8時30分～午後5時15分



用水路改修記録碑(田原)

下小谷から田原へと水路を追うと、
「阿蘇4堆積物」の崖を貫く用水水
道を見ることが出来ます。
石碑が建立された当時、用水路
が度々水害によって破壊された歴
史が推測され、木山川と用水の関
わりを知ることが出来ます。
現在、小谷の堰上流右岸崖に、
2カ所の横穴を確認することがで
きます。地域の人の話によると、
かつてはこの素掘りの水路から取
水していたそうです。
小谷・田原用水には、5軒の水
車小屋が並び、さらに、サツマイ
モを原料とするでんぶん工場も3
カ所ありました。地域では、現在
でも屋号とともにこれらを記憶し
ている人も多く、この用水が地域
の産業も支えていたことが分か
ります。木山川の人々の暮らしを知
る上で、この用水の記録は極めて
貴重であるといえます。

益城町文化財保護委員会

益城の文化財
町文化財保護委員会



小谷・田原

地域の暮らしと
木山川